

**平成 2 3 年度鳥取県営企業会計
決算概要説明資料**

企 業 局

平成23年度 電気事業会計決算概要

(1) 概要

○年間販売電力量は、前年度比14.0%増加の約176千Mwh(県内総需要電力の約4%)となったものの、売電単価の改定(約▲4.6%)等により、電力料収入等の事業収益は、前年度比27百万円減少の17億11百万円となった。

○しかし、運転経費の削減や支払利息の減少等に伴い事業費用は48百万円減少し、この結果、純利益は前年度比21百万円増加の2億4百万円となった。

(2) 収益的収入・支出

(税抜、単位:百万円)

区 分	23年度	22年度	差 引	備 考																
①収 益	1,711	1,738	△ 27	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 【売電電力量及び単価等】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>売電電力量 (MWh)</th> <th>目標達成率 (%)</th> <th>単価 (円/kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水力発電 (8箇所)</td> <td style="text-align: right;">171,768 (150,353)</td> <td style="text-align: right;">105.7 (94.3)</td> <td style="text-align: right;">10.22 ※袋川を除く</td> </tr> <tr> <td>風力発電 (1箇所)</td> <td style="text-align: right;">4,713 (4,495)</td> <td style="text-align: right;">85.3 (81.4)</td> <td style="text-align: right;">10.26</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">176,481 (154,848)</td> <td style="text-align: right;">105.0 (93.9)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">* ()内は昨年度実績等、単価は契約更改により昨年度△4.5% * H23.6より袋川発電所運転開始</p>	区分	売電電力量 (MWh)	目標達成率 (%)	単価 (円/kWh)	水力発電 (8箇所)	171,768 (150,353)	105.7 (94.3)	10.22 ※袋川を除く	風力発電 (1箇所)	4,713 (4,495)	85.3 (81.4)	10.26	合計	176,481 (154,848)	105.0 (93.9)	
区分	売電電力量 (MWh)	目標達成率 (%)	単価 (円/kWh)																	
水力発電 (8箇所)	171,768 (150,353)	105.7 (94.3)	10.22 ※袋川を除く																	
風力発電 (1箇所)	4,713 (4,495)	85.3 (81.4)	10.26																	
合計	176,481 (154,848)	105.0 (93.9)																		
営業収益	1,684	1,722	△ 38																	
電力料	1,684	1,708	△ 24																	
水力発電電力料	1,636	1,662	△ 26																	
風力発電電力料	48	46	2																	
営業雑収益	0	14	△ 14																	
営業外収益	27	16	11																	
特別利益	0	0	0																	
②費 用	1,507	1,555	△ 48																	
営業費用	1,347	1,364	△ 17																	
水力発電費	1,297	1,303	△ 6	修繕費等の減																
風力発電費	50	61	△ 11	修繕費の減																
営業外費用	160	191	△ 31	企業債支払利息等の減																
特別損失	0	0	0																	
当年度純損益(①-②)	204	183	21																	
実質資金収支	686	651	35																	

※ 実質資金収支：減価償却費等の現金の支出を伴わない費用(引当金を除く。)を除いた収支差。資本的収支の不足額の充当財源となる。

○純利益(未処分利益剰余金)204百万円の全額を減債積立金に積み立てる。

(3) 資本的収入・支出

(税抜、単位:百万円)

区 分	23年度	22年度	差 引	備 考
①資本的収入	350	553	△ 203	
企業債	330	371	△ 41	袋川発電所完成等による企業債借入金の減
国庫補助金	20	122	△ 102	袋川発電所完成による国庫補助金の減
貸付金返済金	0	60	△ 60	埋立事業会計への貸付金返済金(H22年度完済)
②資本的支出	1,215	1,436	△ 221	
建設改良費	532	671	△ 139	袋川発電所完成による建設工事費の減
企業債償還金	683	765	△ 82	前年度償還完了分による減
差引(①-②)	△ 865	△ 883	18	

○主な建設改良工事(消費税抜)

袋川発電所水車発電機設置工事	(58百万円)
袋川発電所建設工事(土木・建築)等	(16百万円)
殿ダム建設負担金	(27百万円)
発電集中監視制御システム更新工事	(242百万円)
茗荷谷ダム放流警報設備更新工事	(50百万円)

(4) 借入金の状況(企業債)

(単位:百万円)

前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末 未償還残高
4,121	330	683	3,768

(注)建設改良費の充当財源として借入

平成23年度 工業用水道事業会計決算概要

(1) 概要

- 契約水量は、大口ユーザーの事業撤退等に伴い、平成24年3月末で前年比4.4%減少の日量37,100^トとなったことから、給水収入等の事業収益は、前年度比1億5百万円減少の4億18百万円となった。
- 人件費や修繕費等の効率化に伴い事業費用は33百万円減少したが、事業収益が減少したことにより純損失は前年度比72百万円増加の138百万円となった。

(2) 収益的収入・支出

(税抜、単位：百万円)

区 分	23年度	22年度	差 引	備 考																									
①収益	418	523	△ 105	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5">【契約給水量及び単価等】</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 15%;">契約水量 (m³/日)</th> <th style="width: 15%;">契約企業数</th> <th style="width: 15%;">年間給水量 (千m³)</th> <th style="width: 15%;">単価 (円/m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日野川工業用水道</td> <td style="text-align: center;">30,500 (31,200)</td> <td style="text-align: center;">84 (84)</td> <td style="text-align: center;">6,681 (7,641)</td> <td style="text-align: center;">既設：20 石州府：50</td> </tr> <tr> <td>鳥取地区工業用水道</td> <td style="text-align: center;">6,600 (7,600)</td> <td style="text-align: center;">3 (3)</td> <td style="text-align: center;">1,750 (2,807)</td> <td style="text-align: center;">45</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">37,100 (38,800)</td> <td style="text-align: center;">87 (87)</td> <td style="text-align: center;">8,431 (10,448)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)内は昨年度実績等、単価は昨年度と同額</p>	【契約給水量及び単価等】					区 分	契約水量 (m ³ /日)	契約企業数	年間給水量 (千m ³)	単価 (円/m ³)	日野川工業用水道	30,500 (31,200)	84 (84)	6,681 (7,641)	既設：20 石州府：50	鳥取地区工業用水道	6,600 (7,600)	3 (3)	1,750 (2,807)	45	合 計	37,100 (38,800)	87 (87)	8,431 (10,448)	
【契約給水量及び単価等】																													
区 分	契約水量 (m ³ /日)	契約企業数	年間給水量 (千m ³)		単価 (円/m ³)																								
日野川工業用水道	30,500 (31,200)	84 (84)	6,681 (7,641)		既設：20 石州府：50																								
鳥取地区工業用水道	6,600 (7,600)	3 (3)	1,750 (2,807)		45																								
合 計	37,100 (38,800)	87 (87)	8,431 (10,448)																										
営業収益	393	473	△ 80																										
給水収益	393	473	△ 80																										
営業外収益	25	50	△ 25																										
特別利益	0	0	0																										
②費用	556	589	△ 33																										
営業費用	406	441	△ 35																										
業務費等	159	185	△ 26	人件費、修繕費等の経費の減																									
減価償却費	247	256	△ 9																										
営業外費用	150	148	2	企業債償還利息等																									
特別損失	0	0	0																										
当年度純損益(①-②)	△ 138	△ 66	△ 72																										
前年度繰越欠損金	1,901	1,835	66																										
当年度未処理欠損金	2,039	1,901	138																										
実質資金収支	109	190	△ 81																										

※実質資金収支：減価償却費等の現金の支出を伴わない費用(引当金を除く。)を除いた収支差。
資本的収支の不足額の充当財源となる。

(3) 資本的収入・支出

(税抜、単位：百万円)

区 分	23年度	22年度	差 引	備 考
①資本的収入	1,176	849	327	
企業債	761	463	298	鳥取地区工業用水道施設建設に伴う企業債借入金の増
出資金	210	202	8	一般会計からの鳥取工水への出資金
建設助成金	205	184	21	鳥取地区工業用水道施設建設に伴う国庫補助金の増
②資本的支出	1,320	1,009	311	
建設改良費	943	645	298	鳥取地区工業用水道施設建設費ほか
企業債償還金	377	364	13	
差引(①-②)	△ 144	△ 160	16	

○主な建設改良工事 (消費税抜) 鳥取地区工業用水道事業送水管及び配水管布設工事等 727(百万円)
 殿ダム建設負担金 200(百万円)

(4) 借入金等の状況

○企業債

(単位：百万円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末未償還残高
日野川	2,678	0	167	2,511
鳥取地区	4,127	761	210	4,678
計	6,805	761	377	7,189

(注) 建設改良費の充当財源として借入

○一般会計長期借入金

(単位：百万円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末未償還残高
日野川	682	0	0	682

(注) 石州府への給水事業に伴う収益的収支の資金不足分を借入(H7年度～H17年度)

○一般会計出資金

(単位：百万円)

	前年度末繰入累計	当年度繰入額	当年度末累計額
鳥取地区	1,453	210	1,663

(注) 企業債の元金償還金相当額について出資金を繰入(H11年度～)

平成23年度 埋立事業会計決算概要

(1) 概要

- 新規分譲3件(2社売却、1社貸付)等により、事業収益は前年度比8百万円増加の1億68百万円となった。
- 「みなと温泉館」の売却損や土地売却原価等の計上により事業費用が前年度比1億45百万円増加したことから、97百万円の赤字となった。

(2) 収益的収入・支出

(税抜、単位:百万円)

区 分	23年度	22年度	差 引	備 考
①収 益	168	160	8	
営業収益	154	106	48	
土地売却収益	71	22	49	土地分譲件数の増
その他営業収益	83	84	△1	長期貸付料(竹内:7社 旗ヶ崎:1社)
営業外収益	9	54	△45	退職給与金一般会計負担分等の減
特別利益	5	0	5	みなと温泉館売却に伴う消費税の振替等
②費 用	265	120	145	
営業費用	171	93	78	
土地売却原価	120	30	90	土地分譲件数の増
一般管理費等	51	63	△12	みなと温泉館運営経費の減
営業外費用	0	27	△27	
特別損失	94	0	94	みなと温泉館売却損
当年度純損益(①-②)	△97	40	△137	
実質資金収支	109	83	26	

※ 実質資金収支：減価償却費等の現金の支出を伴わない費用(引当金を除く。)を除いた収支差。
資本的収支の不足額の充当財源となる。

(3) 資本的収入・支出

(税抜、単位:百万円)

区 分	23年度	22年度	差 引	備 考
①資本的収入	120	0	120	みなと温泉館売却代金
②資本的支出	0	69	△69	
建設改良費	0	9	△9	崎津工業団地粗造成工事の終了
他会計借入金償還金	0	60	△60	電気事業会計長期借入金償還金(H22年度完済)
差引(①-②)	120	△69	189	

(4) 借入金の状況

○一般会計長期借入金

(単位:百万円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度返済額	当年度末残高
竹 内	4,276	0	0	4,276
崎 津	3,657	0	0	3,657

(注) 竹内は土地造成のための借入、崎津は工業団地取得のための借入

(5) 分譲状況

平成24年3月末現在(単位:ha)

工業団地名	造成面積	売却面積	長期貸付面積	未分譲面積	うち工業団地	分譲率
昭 和	153.8	151.7	0.0	2.1	2.1	98.6%
旗ヶ崎	41.9	40.2	0.9	0.8	0.8	98.1%
竹 内	128.6	97.7	11.7	19.2	16.2	85.1%
崎 津	24.5	0.0	0.0	24.5	24.5	0.0%